

入学式式辞



穏やかな日差しと色鮮やかな花々に包まれた春爛漫のこのよき日に、PTA会長の古澤喜晴様をはじめ、たくさんの御来賓に御臨席を賜り、令和8年度の入学式が挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

新入生の皆さん、南中学校への入学おめでとうございます。

担任の呼名に応える「はい」というしっかりした返事に、また、キラキラ光る瞳や背筋がぴんと伸びた姿勢に、「南中学校で頑張るぞ!」という意気込みが感じられ、大変嬉しく思いました。

いよいよ今日から中学校生活が始まります。中学校は、小学校とは比べものにならないほど、体も心も大きく成長できる時期です。ですが、期間はわずか3年しかありません。3年後には、高校受験という高く厚い壁に立ち向かい、自らの力で乗り越えていかねばなりません。

入学したばかりなのに・・・と思うかもしれませんが、今日からの一日一日が進路実現に繋がっていくのです。

そこで、1年ごと必要な力を確実に身に付け、「なりたい自分」を実現しながら頼もしく成長していけるよう、みなさんに「目当て」を3つ与えようと思います。入学したてで右も左も分からないだろうから、「何をどうがんばるのか」できる限りわかりやすく伝えたいと思います。

まず、目当ての1つめですが、それは、「行動を揃える」ということです。

揃えたいことをいくつかあげると、まずは、始めと終わりのあいさつです。先輩たちは「語先後礼」でしっかりとあいさつをするのでみなさんも早く覚え、身に付けてください。また、移動教室や掃除など、みんなでやることは、黙ってすばやく取り組めるようにしたいです。そして、決められた時間や期限は何か何でも守る。これらのことを、誰もが当たり前のようにやっている状態・・・それが「行動を揃える」ということです。1日も早く揃えられるようにがんばってください。

続いて目当ての2つめは、人の話を「自分事として聴く」ということです。

「自分事として聴く」とは、話し声をただ耳に入れるだけでなく、話している人

に目と体を向け、相手の表情や姿も話の内容として受け止め、心も頭も使って聴くことです。それができるようになると、聴いたことを自分の行動につなげられるようになり、できること・分かることがどんどん増えていきます。

「自分事として聴く」という意識と習慣をしっかり身に付けてください。

3つめの目当ては、「心と生活を整える」です。

自分の心を整えるためには、毎日気持ちのよいあいさつをすることが大切です。また、自分の心だけでなく、周りにいる人の心も乱さないよう、学校のきまりをしっかり守るとともに、誰もが気持ちのよい生活を送れるよう、モラルやマナーはいつも意識していきたいです。

また、ゲームやスマホなどのやり過ぎは必ず生活に悪い影響を及ぼします。「我慢」することを覚え、自分の行動や生活を自分で管理し、心や体の病気だけでなく、怪我や事故も防ぎ、安全で安心な学校生活を送ってほしいです。

どうですか、今話した3つの目当ては、勉強や運動が得意とか不得意だとかは全く関係ありません。体が大きいとか、小さいも無関係です。誰でも「やればできる」ことばかりです。

校長先生は、南中生全員の成長を願っているのです、午前中に行った始業式でも、みなさんの先輩たちに「令和8年度の重点目標」として、今の3つの目当ての話をしました。もちろん、学年も関係ないので、先輩に追いつき追い越していけるよう頑張ってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。

お子様の制服姿を御覧になり、感慨もひとしおのことと思います。私たち教職員は、子どもたちの夢を広げ、子どもたちの力を最大限伸ばせるよう、全力で教育活動に邁進してまいります。どうか、卒業の日まで変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、新入生の今後の活躍と成長を祈念し、私の式辞とさせていただきます。

